

報道関係各位

【プレスリリース】

2026年1月5日

株式会社 Liberaware

## Liberaware、日本下水道管路管理業協会へ入会 ～ドローンによる下水道点検の標準化に向け協力体制を構築～

株式会社 Liberaware（代表取締役：閔 弘圭、以下「当社」）は、公益社団法人 日本下水道管路管理業協会に入会しました。今後は下水道点検におけるドローン活用について、現場で広く使われる実務ルールの作成に参画し、技術基準の整備、人材育成、運用基準の確立および積算・歩掛の標準化に努めてまいります。



### ■背景・入会に至った経緯

2025年1月の埼玉県八潮市での道路陥没事故を受け、下水道構造物の内部や狭小部など従来の点検手法では確認が困難な箇所の調査ニーズが顕在化する中、当社が開発した屋内点検用ドローン「IBIS2」（以下「IBIS2」）は、多数の下水道調査事例においてその有効性を示してきました。

国の方針においても新技術の導入が推奨されており、ドローン等の新たな手法を実務で活用するための体制整備が求められています。

こうした状況を受け、「IBIS2」による下水道点検の技術と運用ノウハウを、管路事業者や自治体に活用いただけるような実務ルールを整備する必要があると判断し、「公益社団法人 日本下水道管路管理業協会」へ入会する運びとなりました。本入会を通じて、各関係者との更なる協力体制の構築と、現場で使えるルールづくりを推進してまいります。

### ■「公益社団法人 日本下水道管路管理業協会」について

「公益社団法人 日本下水道管路管理業協会」は、下水道管路管理に必要な技術資料等の作成、下水道管路管理に従事する技術者の資格である下水道管路管理技士の認定、下水道管路管理の最新技術に触れることのできる下水道管更生技術施工展の開催、災害で下水道管路に被害を受けた自治体に対する復旧支援などを主体として活動している公益社団法人です。当協会は会員や関係機関との連携を通じて、現場に即した技術基準や運用ノウハウの整備に注力しており、インフラ維持管理の実務的課題の解決を支援しています。

HP : <https://www.jascoma.com/index.html>

## ■今後の展望

今後は、管路事業者や自治体と緊密に連携し、下水道点検におけるドローン活用のための人材育成、プロダクト開発、及び実務に即した運用基準（歩掛・積算）の整備を段階的に推進してまいります。これにより、現場で安全かつ効率的にドローンを運用できる体制の確立と、自治体・事業者の導入促進を図ります。

## ▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会 社 名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）

代 表 者：閔弘圭（ミン・ホンキュ）

所 在 地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設 立：2016 年 8 月 22 日

事業内容：

- ・ド ロ 一 ン 事 業：ドローン等を用いた調査・点検・測量サービス、自社開発のドローン等の販売・レンタルサービス
  - ・デジタルツイン事業：ドローン等により取得したデータの画像処理、データ解析サービス、及び当社画像処理技術のライセンス提供
  - ・ソリューション開発事業：ハードウェアからソフトウェアまで幅広いソリューションを提供する受託開発事業
- U R L : <https://liberaware.co.jp/>  
X アカウント : <https://x.com/liberaware>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：前

TEL : 090-9019-9057 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com